

ゆふかがわ 市議会 だより

第2回定例会(令和5年7月11日～25日)

- ◆可決した条例、補正予算など……………2～4P
- ◆教えて市議会……………4P
- ◆一般質問……………5～13P
- ◆広報編集委員を選任……………14P

No. 253 2023・9

発行 深川市議会
編集 広報編集委員会

令和5年9月7日発行
編集 広報編集委員会



こんなことを
審議し、決めました

条 例	補正予算※	人事案件	意見書	付議事件※
4件	3件	28件	5件	6件

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
 ※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

～第2回定例会のあらまし～

第2回定例会は、田中市長が新型コロナウイルスに感染したことにより、7月13日まで登庁できない状況となったことから、予定していた7月11日から20日までの会期日程を7月11日から25日までの15日間に変更し、初日に行う予定としていた議案審議や一般質問は14日から行いました。

第2回定例会に提案された議案は、条例4件、補正予算3件、人事案件28件、意見書5件、付議事件として選挙管理委員及び同補充員の選挙等6件の合わせて46件でした。

うち、補正予算3件、人事案件28件、付議事件6件は、14日に全会一致または賛成多数で可決・同意・決定。条例4件は、総務経済常任委員会の審査を経て、25日に全会一致または賛成多数で可決しました。また、25日に意見書5件を追加提案し、全会一致で可決しました。

Pick Up

補正予算 **新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を含む補正予算案を可決** 全会一致

7月11日開会の第2回定例会において、電力・ガス・食料品等の価格高騰への対応として、生活支援や地域経済の活性化を図るための各事業費が計上された一般会計補正予算（第2号）を可決しました。事業の中から主なものを紹介します。

深川市生活応援商品券
交付事業



物価高騰による影響を踏まえ、生活支援と地域経済の活性化を図るため、市民向けに生活応援商品券を世帯ごとに発行するものです。

エネルギー・食料品価格等
物価高騰支援給付金



物価高騰等に直面する低所得者を支援するため、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯当たり1万8,000円を給付するものです。

選挙管理委員及び同補充員の選挙

第2回定例会2日目の7月14日に、選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴う選挙を行い、議長の名指推選により、次のとおり決定しました。

選挙管理委員

土井 洋次 さん
 會見 美紀 さん
 高木原めぐみさん
 紺野 浩治 さん

選挙管理委員補充員

田中 春美 さん
 青木 裕幸 さん
 川合 正春 さん
 岡田ナオミ さん

【条 例】

深川市職員給与条例の一部を改正する条例 全会一致

寒冷地手当を時間外勤務手当の算定基礎に含める旨の総務省からの通知を踏まえ、北海道内の他市の状況も鑑み、本市においても、寒冷地手当を時間外勤務手当の算定基礎に含めるため、所要の改正を行うものです。

深川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例 賛成多数

令和5年5月、国の行政手続のオンライン化に関する、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律が改正されたことから、本市においても、市民の利便性の向上を図るとともに、行政運営の簡素化及び効率化に資するため、オンラインによる行政手続に関する事項を定める本条例を改正するものです。

【人事案件】

公平委員会委員の任命 同意

宮川 央子 さん
 公平委員会委員 宮川央子さんの任期満了に伴い、後任として再び同氏を選任したいとの提案があり、賛成多数で選任に同意しました。

農業委員会委員の任命 同意

大谷内 清 さん
 吉川 永充 さん
 栗野 良寛 さん
 山崎 和徹 さん
 青木 実 さん
 富川 裕一 さん
 近藤 洋介 さん
 中川 幸生 さん
 菊入 等 さん

農業委員会委員の任期満了に伴い、新たな委員として、農業に関し識見を有する27人を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

山川 功 さん	馬木 逸男 さん	板垣 昭仁 さん	清水 正勝 さん	高橋 淳一 さん	光富 靖展 さん	増田 貴志 さん	佐々木弘昭 さん	塩尻 総徳 さん	大森 毅英 さん	廣田 和也 さん	五十嵐 剛 さん	水野 静也 さん	荒井 優 さん	尾崎 成宣 さん	宮武 努 さん	下坂多伊子 さん	木根 和美 さん
---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------	---------	----------	----------

【意見書】

全会一致で可決し、内閣総理大臣などに送付しました

- 食料・農業・農村基本法の見直しに関する提言と食料安全保障政策の強化を求める意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書
- 2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- 特別支援学校・学級の教員増員などの体制整備についての意見書

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。



議決結果

教えて市議会

意見書って何？

普段なじみのない議会の仕組みについて、今号では、市議会が国や北海道に対して提出する意見書について紹介します。

意見書とは、市の権限だけでは実現できないことなどについて、市議会が国や北海道に対して、意見や要望を提出する文書のことです。意見書は、市議会全体の意思であるため、可能な限り議員全員の合意に基づいて提案し、採決では全会一致によって可決されることが理想とされています。

深川市議会では、市民にとって有益となる意見書を作成するため、提案前に議員間で十分な議論を行っています。

訂正とおわび

ふかがわ市議会だより No.252 号の4ページに掲載しました、エネルギー・食料品価格等物価高騰支援給付金の説明文のうち、対象世帯の記載に誤りがありました。

下記のとおり訂正し、おわびいたします。

【誤】令和5年度住民税非課税及び均等割のみ課税世帯

【正】令和5年度住民税非課税世帯

質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問通告表



■村上 誠 議員…05

- ・スマート農業の導入支援を
- ・農業用水利施設の電気料金高騰対策

■伊藤美恵子 議員…06

- ・脱炭素社会に向けた取組を
- ・選挙投票率向上のための環境整備を

■新田 旺 議員…06

- ・若者の流出を防ぐ対策は
- ・起業を後押しする空き店舗対策を

■有働 正夫 議員…07

- ・市立多度志診療所について
- ・鳥獣害対策の状況と今後の取組は

■佐々木一夫 議員…08

- ・国民健康保険証の継続交付
- ・自衛隊への市民の個人情報の提供

■山本 時雄 議員…08

- ・市道の整備と補修の状況は
- ・プラザ深川の今後の在り方について

■田畑 陽美 議員…09

- ・居場所づくりに行政支援を
- ・災害廃棄物処理計画の策定について

■松原やす子 議員…10

- ・学校給食費無償化の見直し
- ・加齢性難聴者への補聴器購入助成を

■大前 昭代 議員…10

- ・公共施設に授乳室等設置を
- ・外部人材受入れで行政に新しい風を

■宮澤 孝司 議員…11

- ・選挙の日程変更について
- ・住宅リフォーム助成の追加募集は

■松本 雅祐 議員…12

- ・特定空き家増加の防止対策
- ・带状疱疹ワクチン接種費用の助成を



村上 誠 議員
「公政クラブ」

スマート農業の導入支援を
持続的な農業を目指し推進

◎ 農家戸数の減少により、今後も一戸当たりの耕作面積は増加すると見込まれることから、作業の効率化を図るため、スマート農業の導入支援を継続していく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

投資を要し、国の補助事業活用も年々高くなっていく状況にあるため、市としては、スマート農業推進に関する十分な予算確保を国や北海道に要請していきます。また、深川市農業ステップアップ推進事業のICT導入支援についても、必要に応じ

事業内容の見直しを図りながら、本市農業の持続的な発展に向け、スマート農業を推進します。

農業用水利施設の電気料金高騰対策

◎ 土地改良区では、稲作に必要な農業用水を安定供給するため、揚水機を多数稼働しているが、

深川市農業ステップアップ推進事業：市HP



スマート農業用機械

電気代高騰により今後、農家が負担する賦課金の引上げが避けられない。市による支援の考えを伺う。

◎ 国や北海道においては、令和4年度から5年度までの電気代高騰の7割相当分の支援が行われる予定ですが、3年度から4年度にかけての高騰

分が含まれていないことなどから、先般、関係する五つの土地改良区より、市に対する支援要請がありました。支援の実施は、財源確保が課題でありますが、農業水利施設における今後の電気料金の推移を注視しながら、有利な財源確保に努め、十分に検討します。

議案	議員名（議席番号順）													議決結果		
	佐々木一夫	松原やす子	有働正夫	村上誠	新田旺	伊藤美恵子	山本時雄	松本雅祐	宮澤孝司	北村薫	鶴岡恵司	近沢弘幸	大前昭代		田畑陽美	
第2回定例会	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	●	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

*賛成=○、反対=●、棄権=棄、近沢弘幸議長は採決に加入しません。



伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

脱炭素社会に向けた取組を 省エネルギー化を推進する

◎ 日本各地で大規模災害が多発しており、地球温暖化対策は待ったなしの状況にある。市は本年3月にゼロカーボンシティふかがわを宣言したが、脱炭素社会実現に向けて当面する具体的な取組を伺う。

▲ 当面の取組としては、燃料使用量が軽減される

液体燃料触媒の公用車への試験導入を今年度から実施しているほか、新庁舎の省エネルギー化等により、本市が事業所として排出する二酸化炭素の削減を図ります。また、化石燃料から生成されるプラスチックなどの使用済み製品を資源に、再び同じ製品として利用する

水平リサイクルの検討や、ゼロカーボンシティふかがわを実現するため、機運の醸成を図ります。
選挙投票率向上のための環境整備を

◎ 近年、選挙投票率が低下傾向にあるが、道内の自治体によってはワゴン車やバスを利用した移動

動期日前投票所を導入している例もある。高齢者等に配慮した移動投票所の導入の考えについて伺う。
▲ 土幌町では、個人の自宅前に移動期日前投票所を設置しており、法律の定めにより、その自宅住所を期日前投票所として告示しなくてはならぬ

ゼロカーボンシティふかがわ:市HP



環境に配慮した新庁舎



新田 旺 議員
「民主クラブ」

若者の流出を防ぐ対策は 効果的な施策を検討する

◎ 現在、全国的に若者の流出が問題となっており、本市においても同じ問題を抱えている。若者に向けた施策をもっと強化すべきだと思いが、市外への若者の流出を防ぐための今後の対策について伺う。

◎ 雇用の安定を図ることを目的に、合同企業説明会の開催や奨学金事業、その他支援事業などに取組んできましたが、残念ながら若い世代の流出を防ぐまでには至っていません。今後は、市の魅力発信をさらに進めるとともに、人口減少の流れを緩やかにするため、移住・定住の取組や少子化対策など、総合的に取組

を進め、若い世代の方々に深川市の魅力を感じていただけるよう、効果的な施策を検討します。
起業を後押しする
空き店舗対策を

◎ 起業を検討する方にとって、老朽化が激しい空き店舗の改装は、多額の設備投資を要するため、

起業支援制度を活用したとしても容易ではない。事業者がより活用しやすい空き店舗対策の考えを伺う。
▲ 本市では、空き店舗を活用して商業用店舗等を開設した方に対し、改装経費の一部、また、賃借料の一部を3年間助成する制度を実施しており

深川市起業支援・店舗改装等助成:市HP



合同企業説明会の様子



有働正夫 議員
「公政クラブ」

市立多度志診療所について 地域医療の継続に向け研究

◎ 現在、市立多度志診療所は野上医師に管理運営いただいているが、本人は高齢のため、今後の診療所の動向を心配されている。地域住民のコミュニティの場としても重要な施設だが、診療所存続の考えを伺う。

◎ 野上医師からは、地域の診療所において長い

間診療を続けてきたため、今後も可能な限り診療を継続したいとの意向を確認しています。市としては、人口減少に加えて少子高齢化が進む地域において、医療体制を維持確保していくことは大変重要な課題だと認識しており、引き続き地域医療を継続できるよう、野上医

師の意向や地域の状況等も踏まえながら、十分に研究していきます。
鳥獣害対策の状況と今後の取組は

◎ 市内では、エゾシカ、アライグマ、ヒグマの目撃情報が多数寄せられており、その数は年々増加している。農作物や人的被害等の拡大を防ぐため、市民への周知やさらなる対策等に取り組む考えを伺う。
▲ エゾシカやアライグマの捕獲頭数、ヒグマの目撃情報を踏まえると、それぞれ生息数の増加が考えられるため、これまでの鳥獣害対策を継続して実施するとともに、関係機関・団体とより一層の連携を図り、他の市町村の取組事例なども参考に、効果的な取組を研究します。なお、ヒグマが市街地などに出没した場合は、関係機関・団体と協議・連携の上、状況に応じて周辺住民に注意を呼びかけるなど、被害防止に努めます。

ヒグマの目撃情報:市HP



クマ出没注意看板



さ さ き か ず お 議員
佐々木一夫 議員
「れいわ新選組」

国民健康保険証の継続交付 通知を踏まえ適切に対応

◎ 政府はマイナンバーカード普及の利権と実質強制のため、国民健康保険証の廃止を決したが、市民の生命を守るため、制度継続の必要性と資格確認書の周知、保険証の交付を続けるべきではないか。

―カード未取得の方などには、従来の健康保険被保険者証に代わり、資格確認書を無償で交付します。なお、交付に当たっては、申請等の手続を要せず、自動交付となります。市としては、全ての被保険者が必要な保険診療を受けられるよう、市民周知を徹底するとともに、被保険者証廃止後の事務取扱を踏まえながら、今後、適切な対応について検討していきます。

◎ 自衛隊法等には、個人情報提供の提供や市長権限の定めはない。個人情報保護法では、個人情報

の利用も提供もできず、市の広報等での周知ではなく、同法第27条により事前に本人の同意が必要では。

◎ 自衛隊では、自衛官等の募集に際して名簿を作成するため、昨年度までは、市民課窓口において住民基本台帳の一部の閲覧による情報収集が行われていました。市では、国の通知等を踏まえ協議を行い、今年度は、個人情報保護法第69条第2項に基づき、個人情報の提供を行う考えですが、個人への配慮が必要と判断し、自衛隊への個人情報提供の除外申請を、8月15日まで受け付けています。

自衛隊への情報提供を望まない方へ
市HP



健康保険証のイメージ



やまもとときお 議員
山本時雄 議員
「令和公明クラブ」

市道の整備と補修の状況は 損傷箇所の修繕を適宜実施

◎ 市道の舗装に亀裂が入ることが原因で、雪解け時期に多く発生する路面のくぼみや、路面の水たまりは、通行に大きな支障を来している。市内各地の市道の整備状況と損傷箇所の補修状況を伺う。

◎ 4キロメートル、改良率は約62%、舗装率は約58%であり、砂利道に水たまりが発生した際は、路面を平たんに整正し、必要に応じて砂利を敷きならす等の維持管理を行っています。また、舗装済み道路は、適宜行っている。パトロールをはじめ、市民からの情報提供によ

り損傷箇所を把握し、危険な箇所は、速やかに応急修繕を行うとともに、春先以降に本格的な修繕を行っています。

◎ プラザ深川は、バス待合機能のほか、会議室や貸事務所等も用意し、様々な方に利用いただいています。施設が老朽

ルとなり、駅前の活性化につながっている。施設の老朽化により、修繕等が必要な状況にあると考えるが、今後の施設の在り方を伺う。

プラザ深川：市HP



プラザ深川



たばたはるみ 議員
田畑陽美 議員
「民主クラブ」

居場所づくりに関する行政支援を 先進事例等を参考に研究

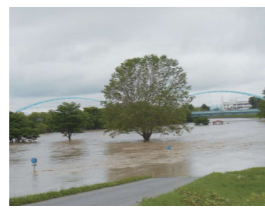
◎ 全国で増えている子ども食堂等は、地域の居場所づくりにつながっている。国の補助金を活用し、居場所づくりの取組に対する支援を行う自治体も増えているが、深川市における支援の考えを伺う。

◎ 子どもの居場所に関するニーズも多様化しています。深川市の未来を担う子供たちが、安全で安心して過ごせる居場所を持ちながら、体験活動等を通じて様々な学びや自己肯定感を高めることは、重要な課題と考えています。今後、先進事例や子供の意見等を参考にしな

ら地域の特色を生かした居場所づくりが推進されるよう、財政支援等も含め研究します。

◎ 近年、激甚化する自然災害が全国各地で頻発している。深川市においても河川の氾濫など、万

深川市地域防災計画：市HP



平成30年7月に発生した大雨災害

が一の状況に備えることは重要と考えるが、現在、未策定の災害廃棄物処理計画に対する市の考えを伺う。



まつばら 松原やす子 議員
「日本共産党」

学校給食費無償化の見通し 無償期間を段階的に拡充

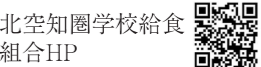
北海道内では、学校給食費の年間負担額が1子当たり5万円程度とされ、保護者の負担軽減のため、給食費無償化の波が広がっている。市民も早期の完全無償化を望んでいるが、今後の見通しを伺う。

北海道内では、学校給食費の年間負担額が1子当たり5万円程度とされ、保護者の負担軽減のため、給食費無償化の波が広がっている。市民も早期の完全無償化を望んでいるが、今後の見通しを伺う。

増及び他市の状況などを注視して、可能な限り早期に実現できるよう努めます。

補聴器の使用は、認知症予防等につながることから、加齢性難聴者に対する補聴器購入助成の考えを伺う。

北空知圏学校給食組合HP



学校給食のイメージ

加齢性難聴者への補聴器購入助成を

65歳以上の3人に1人が難聴を抱えていると言われ、認知症の危険因子にも挙げられている。

公共施設に授乳室等設置を

授乳やおむつ交換が可能な市内公共施設は限られ、また、おむつ交換台はバリアフリートイレ内に設置される場合が多く、衛生面等が心配される。現状を踏まえた、特に道の駅での今後の対応を伺う。



おおまえあきよ 大前昭代 議員
「民主クラブ」

公共施設に授乳室等設置を 施設の改修時に設置を検討



おむつ交換台のイメージ

授乳やおむつ交換が可能な市内公共施設は限られ、また、おむつ交換台はバリアフリートイレ内に設置される場合が多く、衛生面等が心配される。現状を踏まえた、特に道の駅での今後の対応を伺う。

アフリートイレ内に設置してありますが、授乳室は設置しておらず、来館者からも設置を望む声が寄せられています。しかし、限られたスペースの中で施設を運営しており、現状での授乳室の設置は困難と考えます。なお、道の駅は、開設から20年が経過し、リニューアルを

検討する時期を迎えているため、今後、大規模な改修を行う際などは、授乳室等の設置を検討します。

外部人材受入れで行政に新しい風を

民間企業で活躍する専門人材を受入れ、地域の課題解決に向けた活動



みやざわたかし 宮澤孝司 議員
「令和公明クラブ」

選挙の日程変更について 任期満了の30日以内に執行

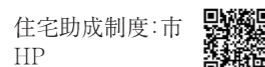
昨年12月に執行された市長選挙は、雪と寒さで大変厳しい状況であったため、市民から選挙日程の変更を望む声が多く寄せられた。市長選挙における投票率等の状況と選挙日程の変更が可能か伺う。

女性59・67%、合計60・18%でした。また、選挙日程については、深川市長の任期は1月20日までであり、選挙は任期満了の30日以内に行うことが法律で定められています。したがって、現職市長が任期途中で退職等により欠けた場合は、選挙日程が変更になる可能性があ

りますが、現行の任期のままであれば、12月21日から1月19日の間で今後も執行されます。

住宅リフォーム助成の追加募集は

住宅助成制度：市HP



投票のイメージ

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■村上 誠 議員

- ・深川市の魅力発信と来訪者を増やす取組について

■伊藤美恵子 議員

- ・自転車の交通事故対策について
- ・職員採用試験と若手職員の離職防止対策について

■有働 正夫 議員

- ・高齢者の交通手段について
- ・多度志小学校について

■佐々木一夫 議員

- ・深川地区消防組合会計不正経理問題の返還金について
- ・公益通報者に対するハラスメント対策委員会の認定について
- ・マイナンバーカードの返納及び利用者登録の削除について
- ・燃料費等高騰による指定管理者への支援について
- ・インボイス制度の市内事業者への影響について
- ・食料自給に向けた肥料の自国生産と下水道汚泥等の利用について
- ・クラーク記念国際高校野球部について
- ・一巳小学校校庭のカラス被害について
- ・高齢者の交通手段について
- ・J R 留萌本線廃止後の特急列車等ダイヤについて

■山本 時雄 議員

- ・公共施設の清掃業務について
- ・市民の足として利用されているタクシーについて

■田畑 陽美 議員

- ・合宿招致について
- ・市職員の副業解禁について

■松原やす子 議員

- ・自衛隊への住民情報の提供について
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用について
- ・交通の便について

■大前 昭代 議員

- ・給食費無償化の現状について
- ・小中学校における図書の利用について

■宮澤 孝司 議員

- ・中心市街地の大型店舗撤退について
- ・ふるさと同窓会応援事業について

■松本 雅祐 議員

- ・子供や若者の声を聴く取組について
- ・農福連携の推進について
- ・分かりやすく親しみやすい市役所の公用文について
- ・市民球場の駐車場について



まつもとまさひろ
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

特定空き家増加の防止対策 所有者等への啓発を継続

◎ 適切な管理がされていない空き家のうち、倒壊の恐れなどの特に危険性が高い建物は特定空き家に指定される。今後も空き家は増え続けると見込まれるが、特定空き家の増加を防ぐための対策を伺う。

◎ 管理者への啓発、注意喚起等を基本としつつ、市民から寄せられた情報を管理する空き家台帳の整備、課題が多岐にわたる空き家の関係所管との連絡体制の構築、空き家バンクの登録による建物の有効活用、住宅の解体助成などに取り組んでいきます。昨年は市外に居住す

る所有者に対する訪問も行っており、今後も有効な対策について研究していきます。

带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

◎ 带状疱疹は50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われ、重篤な症状や合併症の恐れがある。予防に効果的なワクチン接種は高額な費用を要するため、助成の考えを伺う。

◎ 带状疱疹ワクチンは任意接種であり、ほかにモインフルエンザやおたふく風邪等のワクチンが任意接種となっています。带状疱疹ワクチン接種費用の助成は、複数の任意接種ワクチンが存在することから、十分な根拠を持たなければ実施できないと考えており、ワクチン接種による副反応や発症及び重症化予防等の情報、他市における助成状況も把握しながら、費用助成について慎重に研究します。

深川市空家等対策
計画：市HP



特定空き家のイメージ

広報編集委員を選任しました

市議会議員の改選により、広報編集委員を新たに選任しました。
市議会だよりは、市議会の活動状況を広くお知らせし、市議会に対する理解を深めていただくとともに、市民の皆様が開かれた市議会を推進していくことを目的に発行しています。
委員の任期は2年で、今号が新委員の編集による最初の市議会だよりになります。



- 委員長 北村 薫
- 副委員長 山本 時雄
- 委員 村上 誠 新田 旺 佐々木一夫
松原やす子

ー委員長あいさつー

このたび、広報編集委員長の重責を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

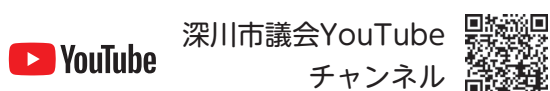
令和5年第2回定例会では新人議員5人を含む11人の議員が深川市に対して建設的な一般質問を行いました。

議会だよりは、議会における活動状況をお知らせし、議会と市民の皆様をつなぐ大切な広報紙でありますので、分かりやすく丁寧な編集を心がけてまいります。

広報編集委員長 北村 薫

問合せ：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282 (直通)



深川市議会YouTube
チャンネル



深川市議会
公式ホームページ

過去の市議会だよりは
HPで御覧いただけます。

